

令和5年度事業報告

I. 事業の概要

コロナ禍で低迷していた社会経済活動が、政府の感染防止法上の5類移行に伴い、徐々に回復の兆しが見えてきた昨今、センター事業の普及啓発や会員募集のためのPR活動として、新聞広告やリーフレットの作成と配布、ポスターの作成と掲示などの活動を行い、ホームページの更新も随時行うなど通常の活動体制に取り組んできた。コロナ禍で2年間中止となっていた「一斉奉仕活動」もシルバー普及啓発月間の10月に実施した。しかし、この低迷期で、失ったものも大きかった。人と人とのつながりが希薄になってしまったことである。各種イベントの中止により、就業は勿論、外部へのPR、啓発活動も十分に行うことができなかったし、「3密回避」のスローガンは、懇親会等の交流機会も奪い、地域班会議開催や定時総会の出席にも大きな影響を及ぼしてしまった。「協働」「共助」のモットーも会員どうしのつながりが薄くなってしまった状態では空文化してしまい、同じ地域班会員でありながら顔も名前も知らないという状態に陥っている地域班さえ見受けられる。会員減少に歯止めをかけ、増加に転じるための方策を探って「会員増強プロジェクトチーム」を立ち上げ、7回の協議機会をもった、「入会説明会」やハローワークでの「就業相談会」も継続的に行い入会促進に努めてきたが、未だその効果は見えていない。

就業機会の確保については、請負・委任事業、派遣事業ともに受注状況が回復しつつあったが、今冬の少雪状況により除雪関連の依頼がほとんど無かったため、伸び悩みの結果となってしまった。コロナの影響から一日も早く脱却し、コロナ以前の実績確保が当面の目標である。

安全就業については、例年のように「安全就業強化月間激励会」の実施、安全委員による就業現場への「巡回指導」を通して事故防止に取り組んだが、4件の傷害事故、1件の賠償事故が発生してしまった。安全就業はシルバー就業の基本であり、徹底した安全意識の向上が必要と思われる。

組織の活性化と財政基盤の強化、ガバナンスの意識徹底は今後ともシルバーの大きな課題である。会員各位、全役職員、事務局職員が大館市シルバー人材センターの構成員であることを自覚し、着実な事業展開に向かうことを期待したい。

II 事業実施状況

(1) 会員確保、増強について

- ①会員増強運動として、会員の「ロコミによる入会促進運動」の継続して行った。
- ②毎月2回第2、第4水曜日に入会説明会を開設し、会員増強に努めた。
- ③ハローワーク大館において、雇用保険審査日に合わせて月2回第1、3金曜日、定期的に「シルバー相談窓口」を設置し、会員増強に努めた。
- ④「入会説明会」「相談窓口」の開設を「新聞広告」や「ホームページ」等でPRした。
- ⑤会員確保、退会抑制のために、会員サークル活動を奨励した。
- ⑥「会員増強プロジェクトチーム」を発足し、増強のための手立てを協議し、取り組みを始めた。

(2) 就業機会確保・拡大と仕事の提供

- ①請負委任の受託事業の推進・拡大
 - ・市役所案内表示板や郵便局の電光掲示板など活用しPRを行ったが、期待した効果は見られなかった
 - ・仕事拡大運動として、会員による「一件一万円の仕事開拓運動」を継続して行った。
 - ・空き家管理を大館市「ふるさと納税」の返礼品に加えてもらい、仕事の拡大に努めた。
- ②会員に対する仕事の提供
 - ・係職員との情報交換を行い、就業機会の公平性確保に努めた。また、就業機会の公平性確保のためローテーション就業を推進したが順調に推移しなかった。
- ③地域就業機会創出・事業拡大の継続
 - ・高齢世帯を対象にした「ワンコインサービス」をはじめ、遠方で暮らす家族に代わり、耕作放棄地・空き家の管理を行い、シルバー会員でも代行できることを周知し、就業することができた。
 - ・高齢者の通院同行や見守りなどにシルバー会員が対応して、就業機会拡大に努めた。
- ④シルバー派遣事業及び有料職業紹介事業の推進・拡大
 - ・適正就業の観点から、請負・委任の受託事業に馴染まない仕事は「シルバー派遣事業」「有料職業紹介事業」で取り扱い、発注者の要望に応じて、かつ会員の就業機会拡大に努めた。

(3) 普及啓発活動の推進とボランティア活動の実施

①普及啓発活動

- ・新型コロナウイルス感染防止法5類移行により、地域行事を活用した街頭宣伝活動が再開できた。大館圏域産業祭でのブース開設、比内トリの市でのリーフレット配布など。
- ・市役所内、郵便局内表示灯案内板広告による周知を行ったが期待する効果は得られなかったため、今年度で両表示灯案内板広告を終了した。
- ・会報「おおだて」(第85・86号)を発行し、会員に現状や活動を周知した。

②ボランティア活動の実施

- ・恒例の「一斉奉仕作業」は、新型コロナウイルス感染防止緩和により、3年ぶりに実施できた。

(4) 安全就業及び適正就業の推進

①安全就業の推進

- ・安全就業適正委員会による「安全巡回パトロール」を、計画、実施した。
- ・熱中症予防のためにアラート発令時に注意喚起を行った。
- ・職群班会議を開催し、安全就業の徹底を呼び掛けた。
- ・全国シルバー人材センターで一斉に行われる「安全就業強化月間」に合わせて、7月1日に安全就業適正委員会・各職群班・一般会員を集めて「安全就業強化月間激励会」を開催し、安全就業を呼びかけた。
- ・シルバー派遣事業の労災事故防止に向けての「衛生委員会」は計画したものの実施できなかった。

②適正就業の推進

- ・連合会の指導のもと、契約内容を点検・確認して、適正就業に努め、請負に馴染まない契約については派遣契約に転換した。

(5) 高齢者の就業促進セミナー及び知識や技能習得のための講習・講座の開催

- ・「秋田県シルバー人材センター連合会」主催の庭木剪定の講習への受講参加を呼びかけた結果、当センターから3名の受講者があった。
- ・プロジェクトチームの取り組みの一環として「認知症サポーター養成講座」を開講、60名の参加があった。
- ・デジタル利用推進事業で「スマホ教室」を開催し、41名の参加があった。

(6) 組織体制の充実と財政基盤の強化

- ・正副班長会議や職群班会議等を通じて、理念の浸透と参画意識醸成を行った。
- ・地域班会議は、開催を呼びかけたが各地域班の体制が不備で一部しか開催できなかったが、センターからは、役職員、事務局員が出席し会員の意見等を聞くことができた。
- ・役職員資質の向上のため、秋田県シルバー人材センター連合会から講師として事務局長を招聘し研修会を実施した。
- ・大館市に「全国シルバー人材センター事業協会」総会で決議された補助金確保を要請した。

(7) 関係行政機関・他団体との連携

- ・大館市雇用対策協定運営協議会、大館・北秋田地域雇用対策連絡会議、大館市支え合い推進会議の構成員として、情報交換により地域社会の課題解決に向けて取り組んだ。また、これらの協議体に参画して、シルバー人材センターの印象度向上を図った。

Ⅲ. 事業目標及び前年度との比較報告

・令和5年度の目標値と前年度実績値との比較(上段:受託事業、下段:派遣事業)

項目	目標値との比較増減(-)	令和5年度目標値	令和5年度実績	前年度実績	前年度との比較増減(-)
会員数	-113人	611人	498人	507人	-9人
受託事業受注額	-25,240千円	245,500千円	220,260千円	216,075千円	4,185千円
受託事業就業延日数	-8,911人日	45,000人日	36,089人日	38,005人日	-1,916人日
就業率	-6,3%	78,0%	71,7%	71,4%	0,3%
派遣事業受注額	-14,293千円	65,500千円	51,207千円	38,294千円	12,913千円
派遣事業就業延日数	-2,673人日	10,000人日	7,329人日	5,528人日	1,801人日

(1) 請負受託事業の推移(最近の5年間)

項目	会員数(人)	増↑ 減↓	就業延人数(人日)	増↑ 減↓	受託契約高(千円)	増↑ 減↓
令和元年度	611	↑	41,096	↓	229,817	↑
令和2年度	584	↓	40,201	↓	235,339	↑
令和3年度	554	↓	39,812	↓	226,787	↓
令和4年度	507	↓	38,005	↓	216,075	↓
令和5年度	498	↓	36,089	↓	220,260	↑

(2) シルバー派遣事業の推移(直近の5年間)

項目	派遣就業の登録会員数	増↑ 減↓	就業延人数(人日)	増↑ 減↓	派遣契約高(千円)	増↑ 減↓
令和元年度	230	↑	9,158	↑	60,352	↑
令和2年度	217	↓	8,024	↓	54,794	↓
令和3年度	198	↓	7,435	↓	53,279	↓
令和4年度	205	↑	5,528	↓	38,295	↓
令和5年度	183	↓	7,327	↑	51,207	↑

IV. 具体的報告

1. 会員の状況

(1) 月別入会・退会状況と会員数

令和5年4月1日～令和6年3月31日

項目	新規入会者数			退会者数			差引在籍会員数		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	合計
前年度	37	11	48	66	29	95	374	133	507
4月	5	4	9	26	23	49	353	114	467
5月	5	1	6	4	1	5	354	114	468
6月	6	2	8	2	0	2	358	116	474
7月	4	2	6	1	0	1	361	118	479
8月	2	2	4	0	0	0	363	120	483
9月	1	3	4	1	1	2	363	122	485
10月	2	1	3	1	0	1	364	123	487
11月	5	1	6	0	0	0	369	124	493
12月	3	0	3	0	2	2	372	122	494
1月	3	0	3	0	0	0	375	122	497
2月	1	1	2	1	0	1	375	123	498
3月	0	0	0	0	0	0	375	123	498
累計	37	17	54	36	27	63	375	123	498

大館地区 358人（男 264人・女 94人） 71.9%

田代地区 61人（男 49人・女 12人） 12.2%

比内地区 79人（男 62人・女 17人） 15.9%

(2) 会員の年齢分布

単位：人、才

項目	60才未満	60～64才	65～69才	70～74才	75～79才	80才以上	合計	平均年齢	最高年齢
男性	0	6	52	145	118	54	375	74.2	91
女性	0	3	16	41	29	34	123	75.5	92
計	0	9	68	186	147	88	498	74.5	92
比率	0.0%	1.8%	13.7%	37.3%	29.5%	17.7%	100.0%	—	—

(3) 入会動機別会員数

単位：人

項目	生きがい 社会参加	仲間作り	時間的 余裕	健康維持 増進	経済的 理由	その他	合計
男性	77	18	104	86	83	7	375
女性	38	4	31	29	19	2	123
計	115	22	135	115	102	9	498

(4) 職歴別会員数

単位：人

項目	会社員等				公務員				自 営	無 職	合計
	事務系	技術系	その他	小計	事務系	技術系	その他	小計			
男性	45	224	53	322	21	10	3	34	19	0	375
女性	19	63	20	102	4	6	0	10	9	2	123
計	64	287	73	424	25	16	3	44	28	2	498
構成比	85.1%				8.8%				5.6%	0.4%	100.0%

(5) 会員の希望職群（第一希望）

単位：人

項目	技術群	技能群	事務 整理群	管理群	折衝 外交群	一般 作業群	サービ ス群	その他	合計
男性	27	48	6	127	1	162	3	0	375
女性	4	1	5	2	1	89	21	1	123
計	31	49	11	129	2	251	24	1	498

(6) 退会した会員の退会理由

単位：人

項目	病気	加齢	死亡	就職	家庭の 事情	希望する 仕事なし	就業機 会なし	会費 未納	その他	合計
男性	14	3	4	3	0	1	1	0	11	37
女性	8	6	0	4	2	1	1	0	4	26
計	22	9	4	7	2	2	2	0	15	63

2. 受託事業(請負委任)の実績報告

(1) 仕事の分類別、公共・民間別の受注状況

・上段→仕事の分類別、下段→公共・企業・家庭別

令和6年3月31日現在

項目	受注 件数 (件)	就業延 日人員 (人日)	契 約 金 額 (円)				
			配 分 金	材 料 費 等	事 務 費	合 計	
仕 事 の 分 類 別 実 績	管理的業務	0	0	0	0	0	0
	専門的・技術 的業務	2	12	88,500	2,200	17,700	108,400
	事務的業務	127	179	846,497	6,730	110,363	963,590
	販売の業務	0	0	0	0	0	0
	サービス業務	160	12,522	67,959,376	69,914	9,708,597	77,737,887
	保安の業務	0	0	0	0	0	0
	農林漁業の 業務	375	2,672	16,285,816	5,906,377	3,393,560	25,585,753
	生産工程の 業務	35	126	338,304	96,604	47,842	482,750
	輸送・機械運 転の業務	1	190	1,462,850	0	223,734	1,686,584
	建設・採掘の 業務	66	124	596,988	442,170	103,673	1,142,831
	運搬・清掃・ 包装等の業務	963	20,264	87,671,176	12,457,054	12,427,351	112,555,581
	上 段 計	1,729	36,089	175,249,507	18,981,049	26,032,820	220,263,376
公 共 ・ 民 間 別 実 績	下 段 計	1,729	36,089	175,249,507	18,981,049	26,032,820	220,263,376
	公 共	149	15,370	69,472,619	8,360,551	10,324,689	88,157,859
	企 業 等	357	16,076	85,123,031	3,587,444	12,217,303	100,927,778
	個人・家庭	1,223	4,643	20,653,857	7,033,054	3,490,828	31,177,739
	独自事業	0	0	0	0	0	0

(2) 履行期間別受注件数

10日未満	10日以上 1ヶ月未満	1ヶ月以上 3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上	合 計
1,420 件	66 件	26 件	80 件	137 件	1,729 件
82.1%	3.8%	1.5%	4.6%	7.9%	100.0%

3. 労働者派遣事業の実績報告

令和6年3月31日現在

派遣登録会員数(人)			契約件数(件)			受注金額(円)			就業 実人員 (人)	就業延 日人員 (人日)
男	女	計	公共	民間	計	公共	民間	計		
133	50	183	4	51	55	3,031,501	48,176,415	51,207,916	133	7,327

4. 事故報告

(1) 傷害事故

第1号 男性 80歳

事故日時 令和5年4月18日(火) 午後2時40分頃

事故場所 大館市櫃崎字沢頭8

発生状況 水稻育苗の播種作業中、パレットに右手小指を挟む。通院30日程度、労災事故。

第2号 男性 73歳

事故日時 令和5年7月29日(土) お昼ごろ

事故場所 大館市柄沢墓地公園

発生状況 樹木剪定作業中、熱中症により救急車で搬送。入院一日。

第3号 男性 70歳

事故日時 令和5年9月8日(金) 午前9時30分

事故場所 大館市赤石字伊勢堂岱233-1

発生状況 JAカントリーエレベーター内の清掃作業中階段で転倒。通院30日、労災事故。

第4号 男性 73歳

事故日時 令和6年1月9日(火) 午前6時30分

事故概要 施設勤務中、ゴミ袋運搬中、雪道で転倒、左膝を骨折。1ヶ月の治療後、完治。

(2) 賠償事故

第1号 男性 82歳

事故日時 令和5年8月3日(木)

事故場所 大館市御成町1丁目字二本杉後

発生状況 レールバイク沿線の草刈り作業中、石が走行中の車両後部ドアにあたり損傷

損害額 84,000円(修理費用+代車費用)

5. ワークプラザ棟利用状況

部屋別	利用回数	利用目的
作業室	230	庭木班・清掃班準備後始末、機材整備他
研修室	60	職群班会議、入会手続き、サークル活動、会員打合せ他
講習室	127	襖・障子・網戸張り、市・県広報仕分、講習、チラシ等仕分け
会議室	78	理事会・監査会、諸会議、検査・指導、就業説明、入会説明会 他
合計	495	

6. 主催した主な会議

- ① 定時総会（会場：大館市立中央公民館）総会員470人中、321人出席。（実数64人、委任状136人、書面表決121人）
議案：令和4年度事業・収支決算承認、役員改選
- ② 理事会 9回
第1回：(4/25)監事報告、令和4年度事業報告・決算報告、定時総会上程議案、他
臨時理事会 (5/16)会長・事務局長人事 役員選考委員会
第2回：(6/23)理事所掌事務の確認。事業計画、プロジェクトチームの立ち上げ 未収金の処理
第3回：(8/24)一斉奉仕作業 職群班の組織強化 収支予算の補正 安全適正就業員会規程改正
第4回：(9/28)職員人事 一斉奉仕作業実施 事業部ポスター作製 熱中症対策 産業祭宣伝活動
第5回：(12/19)上半期監査報告 インボイス消費税負担 地域正副班長会議・班会議
第6回：(2/26)事務局長業務の取り扱い 令和6年度事業計画案
第7回：(3/12)令和5年度事業計画 収支予算 資金調達及び設備投資 36協定の確認
第8回：(3/26)事務局長人事の承認 職員給与規程の一部改正 就業規則の一部改正
- ③ 監査会 2回 令和5年度上半期・下半期事業・会計監査
- ④ 安全・適正就業委員会 1回 ※令和5年度の安全計画策定、他
※就業現場の巡回指導5回実施（7月～9月までの期間）
- ⑤ 総務部会 1回（奉仕作業実施の検討）
- ⑥ 事業部会 3回（ポスター作製）
- ⑦ 広報部会 4回（会報おおだて83号、84号発行）
- ⑧ 地域班正副班長会議 2回（会員入会促進、安全就業、地域班会議の企画、適正就業）
- ⑨ 地域班会議（安全・適正就業、会員勧誘）開催地域班
- ⑩ 職群班会議（安全対策、マナー向上、受注目標、仲間意識の醸成、会員勧誘要請、他）
※庭木班2回、除草班2回開催
- ⑪ 事務局会議 3回（事業計画・予算、総会対応、会員確保）
- ⑫ 会員増強プロジェクトチーム会議 7回（2つの分科会で宣伝・PR、退会防止、女性会員増強）

7. 実施した主な行事

- ① 安全就業強化月間「安全激励会」
※令和5年7月1日、センター駐車場にて安全委員と仕事に向かう前の職群班員・一般会員らで、事故防止への取り組みを誓いあった。
- ② 一斉奉仕作業（全国シルバー人材センター啓発月間）市内6ヶ所を地域班で分担して実施

8. 他団体との連携

① 「大館市高齢者活躍支援協議会」との連携

- ・高齢者の就職促進のため、各種セミナーの開催やマッチング事業を展開。
- ・構成：大館商工会議所、大館北秋商工会、JAあきた北、秋田銀行大館支店、ハローワーク大館、大館市シルバー人材センター。

② 「大館市雇用対策協定運営協議会」との連携

- ・若者の地元就職とAターン推進、女性の活躍に向けた就労整備、高齢者の就労支援、福祉関係支援対象者の就労支援を図るためマッチング事業などを行う。
- ・運営の主体は大館市と秋田労働局。
- ・構成：ハローワーク大館、大館市産業部商工課、移住交流課、大館市福祉部福祉課、子ども課、大館北秋雇用開発協会、秋田県ふるさと定住機構あきた就職活動支援センター、秋田職業能力開発短期大学校、秋田看護福祉大学、大館市シルバー人材センター。

③ 「大館・北秋地域雇用対策連絡会議」との連携

- ・慢性的な労働力不足を背景に、地域の関係機関の緊密な連携により機動的かつ効果的な対策の推進を図るため、大館公共職業安定所が中心となって設置された協議体。
- ・構成：北秋田地域振興局、大館市、北秋田市、上小阿仁村、大館商工会議所、北秋田市商工会、大館北秋商工会、上小阿仁村商工会、産業雇用安定センター、中小企業団体中央会、大館市シルバー人材センター、北秋田地域シルバー人材センター、ハローワーク大館・鷹巣。

④ 大館市支え合い推進会議「第1層協議体」との連携

- ・大館市社会福祉協議会が核となって運営される協議体。大館市における高齢者の生活支援体制の整備に向けた助け合いの推進、介護予防、高齢者の居場所作り等に取り組むもの。定期的な会議の開催及び先進事例の紹介・視察などを実施。
- ・構成：各地域包括支援センターはじめ、町内会長、民生児童委員、福祉員、商工団体、警察機関、消防団、福祉関係行政機関、地縁組織、老人クラブ、ボランティア団体、シルバー人材センター。

9. 他団体が主催した会議・研修等の出席

注・全シ協＝公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会
・東北シ協＝東北シルバー人材センター連絡協議会
・連合会＝公益社団法人 秋田県シルバー人材センター連合会

- ① 6/14 「県シルバー人材センター連合会総会」（秋田市・連合会）
- ② 4/25 「派遣・有料職業紹介担当者会議」（秋田市・連合会）
- ③ 5/19 「大館市勤労者共済会評議員会」（大館市）
- ④ 5/30 「大館市支え合い推進会議」（大館市）
- ⑤ 6/13 「大館市ふるさと納税事業者会議」（大館市）
- ⑥ 6/26 「大館市福祉まるごとネットワーク支援会議」（大館市）
- ⑦ 6/28 「東北シルバー連絡協議会総会」（秋田市・東北シ協）
- ⑧ 7/14 「派遣元責任者会議」（仙台市・東北シ協）
- ⑨ 8/31 「安全就業推進大会」（秋田市・連合会）
- ⑩ 9/20 「全シ協定期指導」（連合会）
- ⑪ 9/26 「理事長・事務局長合同研修会議」（山形市・東北シ協）
- ⑫ 10/26 「安全運転管理者講習会」（大館市）
- ⑬ 11/20 「デジタル推進に係る情報交換会」（秋田市・連合会）
- ⑭ 11/28 「職員研修」（仙台市・東北シ協）
- ⑮ 12/11 「会計・経理オンライン講習」
- ⑯ 12/13 「チャレンジデー2023in大館」（大館市）
- ⑰ 12/14 「女性会員拡大に向けた情報交換会」（秋田市・連合会）
- ⑱ 高齢者活躍支援就職セミナー（ハローワーク大館）
- ⑲ 高活協合同企業面談会（北鹿鹿鳴ホール）
- ⑳ 社会福祉協議会「大館市支え合い推進会議」（第1層協議体）3回（上川沿公民館）

10. 秋田県シルバー人材センター連合会主催の講習等（大館市で実施した講習）

（1）高齢者活躍人材確保育成事業

- ① 庭木剪定実技講習（中級）

11. 検査・指導、要請活動

- ① 顧問税理士による指導・検査（4回）
- ② 福原大館市長と面談（12月4日）※全シ協総会決議文の手交とシルバー支援の要請

12. 義務的講習等

- ① 安全運転管理者講習（大館市）

13. マスコミ取材報道

- ① 当センター令和5年度「定時総会」の新聞報道。
- ② 「会員増強プロジェクトチーム」の新聞報道。
- ③ 当センターサークル「麻雀同好会主催麻雀大会」の新聞記事。
- ④ 当センターデジタル化事業「スマホ教室」の新聞報道。
- ⑤ 当センター「認知症サポーター養成講座」の新聞報道。